



石川光陽写真展

昭和を撮り続けたカメラマンの記録

平成16年4月29日[木]～5月9日[日]

昭和館3階 企画展会場 入場無料



ごあいさつ

このたび昭和館では、「石川光陽写真展—昭和を撮り続けたカメラマンの記録—」と題して企画展を開催する運びとなりました。

石川光陽は昭和2(1927)年に警視庁に入庁、以来昭和38(1963)年に退職するまでの36年間、持ち前の感性と写真館できたえた技術で昭和の時代を撮り続けました。警察官という特別な立場にいたこともあり、氏の写真には素晴らしい臨場感、迫力が兼ね備わっています。なかでも東京大空襲の様子については、記録資料として撮影を行った唯一のカメラマンとして、絶大な功績が知られています。

終戦時、GHQは氏の存在を知り、警視庁にフィルム of 提出を命令してきました。これを知った光陽は、生命をかけて撮影した大切な記録を渡すことをよしとせず、自宅の庭に埋めて提出を拒否しました。ついにこれらの記録写真は氏の所有するところとなったのです。

本展では戦前から戦中、そして戦後の混乱期から復興期へと移り変わる東京の風景、人々の様子を選んでいきます。是非ともこの迫力のある、エネルギーに満ちあふれた作品の数々をご覧ください。

石川光陽 年譜

- 明治37(1904)年 福井県に生まれる
- 大正8(1919)年 東京・九段下の蜂谷写真館にて2年間、写真の修行をする
- 大正15(1926)年 兵役解除となり除隊
- 昭和2(1927)年 警視庁入庁、写真撮影担当となる
- 昭和38(1963)年 警視庁を依願退職
その後は警察学校で後進の育成にあたる
- 平成元(1989)年 逝去

この度は、昭和館主催「石川光陽写真展」にお運びいただきありがとうございます。父光陽は、昭和初期から後期まで、常にカメラを携え、東京の歴史をフィルムに収めておりました。特に東京大空襲では自身の死を覚悟しての撮影でしたが、今回展示された写真はその中のほんの一部です。

今後も写真展を企画し、父がレンズを通して見た昭和の歴史をより多くご紹介したいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

石川 令子(石川光陽次女)



I 東京華やかなりし頃

昭和6年～11年頃

上野広小路

左手奥に見えるのは上野松坂屋。道路中央にある市電停留所の端に建っているトンガリ屋根の建物は、ポイントを切り替える転轍所(てんでつじょ)。

●撮影地 下谷区上野広小路(現:台東区)
昭和7年



II 戦時下の東京

昭和12年～20年頃



数寄屋橋(すきやばし)

午前11時56分、警戒警報発令。銀座にはB29が72機来襲し、手前から安田銀行、朝日新聞社、日劇が全焼した。

●撮影地 麹町区数寄屋橋付近(現、中央区)
昭和20年1月27日

焼け出された人々

この日、文京区、豊島区一帯が空襲を受け、大勢の人々が焼け出された。

駒込林町は現在の千駄木3・5丁目にあたる。

●撮影地 本郷区駒込林町190番地
昭和20年3月4日



III 戦後の混迷と復興

昭和20年8月～36年頃



浅草寺境内の露店

浅草寺境内の中にも開かれた露店。

当時露店は、公園の池のまわりに古着・古物・靴・玩具など500程あった。

●撮影地 浅草区浅草寺(現、台東区)
昭和23年2月

出品目録

No.	タイトル	撮影地	撮影年月日
I 東京華やかなりし頃			
(1)	飛鳥山の花見	王子区飛鳥山公園 (現:北区)	昭和6年4月
(2)	上野広小路	下谷区上野広小路 (現:台東区)	昭和7年
(3)	新聞スタンド	東京駅前	昭和8年11月21日
(4)	皇太子明仁親王 (今上天皇) 御誕生	日本橋区日本橋 (現:中央区)	昭和8年12月
(5)	神田カフェー街新天地	神田区神田神保町 (現:千代田区)	昭和9年2月
(6)	中野サンモール商店街	中野区中野	昭和9年3月
(7)	青バス	下谷区上野広小路 (現:台東区)	昭和9年7月
(8)	神宮球場でのベーブ・ルース	神宮球場	昭和9年11月
(9)	戦前最後のメーデー	芝区新橋 (現:港区)	昭和10年5月1日
(10)	駒込有町の交差点	本郷区本郷有町交差点 (現:文京区)	昭和11年1月
(11)	サラリーマン向け貸家	目黒区	昭和11年4月
(12)	五反田駅界隈	品川区五反田駅界隈	昭和11年6月
(13)	雪の浅草六区	浅草区浅草 (現:台東区)	昭和11年2月4日
(14)	2・26事件 (1)	芝区桜田門 警視庁裏庭 (現:千代田区)	昭和11年2月27日
(15)	2・26事件 (2)	芝区桜田門 警視庁裏庭 (現:千代田区)	昭和11年2月27日
II 戦時下の東京			
(16)	出征兵士見送りの列	赤坂区赤坂榎町 (ひのき) 町 (現:港区)	昭和12年7月
(17)	警視庁職員の出征	赤坂区赤坂榎町 (ひのき) 町 (現:港区)	昭和12年7月
(18)	千人針	京橋区銀座通り (現:中央区)	昭和12年8月
(19)	清洲橋の煙霧	清洲橋	昭和12年9月
(20)	撃墜模擬訓練	未詳	昭和12年頃
(21)	産業戦士体育祭 (1)	明治神宮外苑競技場	昭和15年5月
(22)	産業戦士体育祭 (2)	明治神宮外苑競技場	昭和15年5月
(23)	帝都防空訓練	東京駅付近	昭和18年8月16日
(24)	数寄屋橋	麹町区数寄屋橋付近 (現:中央区)	昭和20年1月27日
(25)	銀座四丁目	京橋区銀座四丁目 (現:中央区)	昭和20年1月29日
(26)	焼け出された人々	本郷区駒込林町190番地 (現:文京区)	昭和20年3月4日
(27)	3月10日の大空襲 (焼け落ちた海軍省)	警視庁屋上より	昭和20年3月10日
(28)	3月10日の大空襲 (焼け落ちた警視庁)	警視庁	昭和20年3月10日
(29)	3月10日の大空襲 (焼け落ちた九段南付近)	麹町区九段南近辺 (現:千代田区)	昭和20年3月10日
(30)	3月10日の大空襲 (焼け落ちた九段付近)	麹町区九段下交差点 (現:千代田区)	昭和20年3月10日
(31)	建物の強制疎開	目黒区上目黒	昭和20年4月4日
(32)	焼け跡に建てられた仮小屋	荒川区尾久町	昭和20年4月14日
(33)	焼け落ちた池袋付近	大塚駅	昭和20年4月14日
(34)	罹災者 (りさいしゃ) を乗せて	京浜国道沿い 蒲田区 (現:大田区) 付近	昭和20年4月16日
(35)	長谷川理容館営業所	蒲田区矢口付近 (現:大田区)	昭和20年5月29日
(36)	延焼する小学校	板橋区志村	昭和20年8月10日
III 戦後の混迷と復興			
(37)	敗戦翌日に皇居前に歩く人々 (1)	皇居前	昭和20年8月16日
(38)	敗戦翌日に皇居前に歩く人々 (2)	皇居前	昭和20年8月16日
(39)	米兵の銀座交通整理	文京区銀座四丁目 (現:中央区)	昭和21年
(40)	雪で遊ぶ子供たち	目黒区八雲	昭和21年
(41)	上野職業安定所	下谷区上野 (現:台東区)	昭和21年
(42)	進駐軍の仮兵舎	千代田区三宅坂付近	昭和22年6月頃
(43)	浅草寺境内の露店	台東区浅草	昭和23年2月
(44)	浅草寺境内でバラック生活	台東区浅草	昭和23年2月
(45)	切符を求める人々の列	台東区上野	昭和23年頃
(46)	砂川闘争	北多摩郡砂川町 (現:立川市)	昭和30年5月
(47)	皇太子殿下ご成婚	皇居桜田門付近	昭和34年4月10日
(48)	トリスパーの流行	未詳	昭和35年頃
(49)	中央区銀座通り (1)	中央区銀座	昭和36年頃
(50)	中央区銀座通り (2)	中央区銀座	昭和36年頃

石川光陽写真展 昭和を撮り続けたカメラマンの記録

平成16年4月29日(木)～5月9日(日) 昭和館3階 企画展会場



昭和館

●休館日 毎週月曜日(企画展開催期間は毎日開館) ●10:00～17:30(入館は17:00まで)

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1 TEL.03-3222-2577 FAX.03-3222-2575 ホームページ <http://www.showakan.go.jp>